

第2回 昭和・名東・天白ブロック学習会レポート 平成30年10月4日(木)

今回の学習会では、前半は「どうしてる？子どもの育ちを支えるための支援」、後半は「発達障害通級指導教室の『これまで・今・これから』」をテーマに行いました。その内容の一部をご紹介します。

どうしてる？子どもの育ちを支えるための支援

子ども一人一人に設定したねらいを達成するために、どのように支援をするとよいのか、悩むことが多いと思います。そこで今回は、子どもたちの育ちを支える支援の在り方について、みなさんと一緒に考えました。手だてに関するキーワードについて共通理解をしたあと、行動の背景を考えた働きかけについて、ワークシートを使って考えることを共有しました。

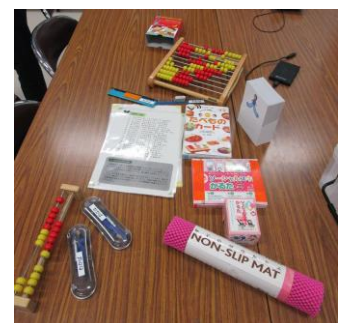
手だてに関するキーワード

- 意欲を高める働きかけ
- スモールステップ
- 構造化 手順 スペース 時間
- 支援機器 支援グッズ
- WISCといった検査の活用
- 行動の背景を考えた働きかけ
- …他にもいろいろあると思います。



発達障害通級指導教室の「これまで・今・これから」

この10年で名古屋市内の小中学校に発達障害通級指導教室が少しずつ増えてきました。そんな中で、通級指導教室担当の先生方がこれまで重ねられた実践や日々の指導、課題などについて理解が不十分な面もあると思います。そこで、元・現通級指導教室担当である前山小学校 伊藤亨先生、貴船小学校 戸田ゆかり先生、植田小学校 磯部航太先生をパネラーとしてお迎えし、パネルディスカッション形式で理解を深めました。



パネルディスカッションでは、「支援してうまくいったこと」「支援にあたって難しかったこと」について、先生方にお話しいただきました。「支援してうまくいったこと」では、すぐ怒ってしまうお子さんに対して、損か得かという考え方を取り上げて、考え方次第で結果が変わってくることを認知させていくことを通して、行動が改善されたケースについてのお話がありました。また、個別に関わることで「早い段階での気付き」「子ども一人一人の心の支えになる」「一緒に課題に取り組むことで、できた！で終わることができる」といったメリットも教えていただきました。最後に、指導に当たって活用している教材・教具の紹介もしていただきました。

(文責 藤が丘小学校 中室匡雄)

次回は、11月5日(月)18:30～「どうしてる？子どもの育ちを支えるための保護者との連携」植田小学校です♪お互いの知識や経験、気付きを共有し、学び合いましょう！